

組織面 解決策	<b>自主運営を目指す</b>	
	現在の参加者から代表者を選出し組織編成をする、また参加料を徴収し運営費に充てることで自主運営が可能（歌サロン）	中條委員 深堀委員
	現在各事業の中心となっている実行委員が、まち協ではなくボランティアチームとして自主運営していく	上林委員
	サークル運営へ移行する（参加料も徴収）（歌サロン）	上林委員
	<b>他組織・団体との連携や移行</b>	
	現在まち協で実施している4事業について、各市民委員会で事業を引継いで実施していく意向があるか確認する	中條委員
	市民委員会や地区社協等、地域の別団体へ移行する	上林委員
	公民館事業として、会場を提供し開放、学生ボランティアの定着で運営していく（学習支援）	上林委員
	学生服に特化する場合、PTA関係の協力で運営していく（エコ）	上林委員
	<b>地域住民等の協力による組織の強化</b>	
	実働可能なメンバーを増やす	宮嶋委員
	実行委員を支援するメンバーを増やす（歌サロン）	宮嶋委員
	見守り役を増やすことで1人1人の負担を軽減（学習支援）	宮嶋委員
	改選で新委員が全てを引き継ぐのは大変なので、まち協とは別に携わる人を選ぶ	守田委員
	地域の人が事業を受け継いでいくようにする	大屋委員
	チラシを作成し、委員加盟団体への協力要請、公民館等の公共施設で配布し、スタッフを募集する	佐藤（郁）委員
<b>その他（組織面）</b>		
委員交代になっても困ることのないよう、誰が見てもわかりやすく工夫した引継書を作成する（過去の記録、写真など添付）	荘司委員	
団体役職についていない方、若年層を選出し、幅広い意見を取り入れ事業の可否等の検討をする	深堀委員	
会長不在時でも事業を円滑に進めるために、会長を補佐する役割を決める	辻並委員	
資金面 解決策	<b>参加料等収入の設定</b>	
	歌サロンの参加者、エコ（制服譲渡）の利用者から、負担のない範囲で費用の一部を徴収する（歌サロン・エコ）	辻並委員
	制服販売が困難ならば、寄付や募金などで資金を増やす（エコ）	大屋委員
	現在の参加者から代表者を選出し組織編成をする、また参加料を徴収し運営費に充てることで自主運営が可能（歌サロン）【再掲】	中條委員 深堀委員
	高齢者、社会人対象の事業は軌道に乗った後、利用者の負担を検討する	
	地域事業者への協力要請、クラウドファンディング等を検討する（学習支援）	佐藤（郁）委員
	譲り品の譲渡会などは受益者負担を検討する（エコ）	
	<b>市補助金の継続</b>	
	歌サロン以外は、事業の趣旨を考えると、今後も市の補助金で事業を実施していく（参加料等の設定は適当ではない）	中條委員
	市補助金で運営していくことが望ましいが、経済的に支障があるなら補助金増額の要望も必要	深堀委員
	補助金予算内で事業を行う	宮嶋委員
<b>その他（資金面）</b>		
他地区のまち協と情報交換し、参考になる事例を取り入れる	荘司委員	
報酬額など費用額の見直しをする	上林委員	

その他	使えそうな制服を増やすため、回収時期を、学校卒業式の直後に設定するなどする（エコ）	辻並委員
	各事業は継続の必要があるが、歌サロンは継続するにしても内容の検討を要する	深堀委員
	高齢化が進むなか高齢者が参加できる場所が必要、資金面については検討を要する（歌サロン）	伊林委員
	市民が必要としているので今後も継続していく必要がある（歌サロン、学習支援、エコ、広報誌）	荘司委員
	制服購入の負担は大きく、金銭面を考えると、制服の譲渡会は今後も必要（エコ）	渡部委員
	実施事業について、継続の有無や、改善策の検討を委員の加盟団体へ依頼する。また、利用者へのアンケートを実施する	佐藤（郁）委員